

13.1 VPN について

VPN とは、インターネットを経由して学外（ユーザーの自宅など）と大学のネットワークを接続し、学内と同様のネットワーク環境を提供するサービスのことです。

VPN を利用することで、学内で利用できるサービスを自宅や外出先などの学外からでも利用できるようになります。

【VPN を利用することで学外から利用可能となる主なサービス】

RDTWEB	学外から利用する場合、VPN サービスを利用しなければ接続できません。
ファイル共有 Web システム	学外から利用する場合、VPN サービスを利用しなければ接続できません。
図書館オンラインデータベース [学内でのみ閲覧できるコンテンツ]	VPN を利用することで、学内でのみ閲覧可能なコンテンツなどが学外から閲覧可能になります。 ※学内でのみ閲覧できるコンテンツ以外は VPN を利用しなくても閲覧できます。

利用可能な VPN の種類

自宅や外出先などの学外から前ページの表のサービスを利用する場合、「SSL-VPN (AnyConnect)」、「SSL-VPN (クライアントレス)」、「IPsec-VPN」の3種類の VPN 接続サービスのうちいずれかを利用する必要があります。それぞれの違いについては、下記のとおりです。

VPN の種類	利用の手軽さ	備考
SSL-VPN (AnyConnect)	一度クライアントソフトをインストールすれば、インターネットに接続できる環境と Web ブラウザがあればすぐ利用できます。	貸与ノートパソコンおよび 2013 年度情報科学部生向けの貸与ノートパソコンにはあらかじめ専用ソフトウェアがインストールされています。 これから VPN サービスの利用を開始する学生には SSL-VPN (AnyConnect) の利用を推奨します。
SSL-VPN (クライアントレス)	クライアントソフトのインストールが不要で、インターネットに接続できる環境と Web ブラウザがあればすぐ利用できます。	今すぐ「図書館オンラインデータベース」などにアクセスしたいユーザにおすすめします。
IPsec-VPN	クライアントソフトをインストールする上、利用時にはクライアントソフトを起動する必要があります。 (Mac OS X 10.6 以降は IPsec-VPN クライアントがデフォルトインストールされているため、別途インストールは不要)	パソコンやネットワークに詳しく、トラブルも自己解決できるヘビーユーザにおすすめします。

利用上の注意

- ・ VPN サービスを利用する際は、学生自身が自宅や学外からインターネットに接続できる環境を用意できることが前提です。自宅や学外からインターネットに接続できる環境を用意できない学生は、本サービスを利用することはできません。
- ・ VPN 接続を行うと、自宅のパソコンを大学内へ持ち込んで学内のネットワークに接続したのと同じ状態になります。適切なセキュリティ対策を行わずに自宅のパソコンがウイルスやワームに感染したまま VPN 接続すると、学内の他のユーザに感染を広げる加害者になってしまう恐れがあります。
- ・ VPN 接続する場合は、事前に「Windows Update」の実行、ウイルス対策ソフトのパターンファイルを最新の状態に更新するなど、セキュリティ対策を各自で行ってから接続するようにお願いいたします。